



Happy New Year

2015

希望と笑顔の一年となりますように！

May it be a year of hope and smiles!



本年もどうぞよろしくお願いします！

Thank you for your support this year, too!

ポーポキの目標 2015年！

1. 非暴力で平和な世界の創造のために積極的に行動します！
2. 今までの友だちを大切にしながら新しい仲間をつくり、一緒に学び合い、行動し、そしてつながりをいっそう確かなものにします！
3. 東日本大震災の支援活動を継続します！
4. 平和と健康、安全、安心についての取り組みを継続し、深めます！
5. 身近な世界にも遠くはなれた世界にも関心を持ち、情報を共有し、旅行や体験についてお互いに報告し合い、継続的にとりあげます！
6. 周囲の人にもよろこびを提供し、みんなで喜びを分かち合います！

ポーポキ・ピース・プロジェクト

Popoki Peace Project



新しい年のはじまりです！ポーポキは平和のために努力しますが、ときには気持ち良い安全な場所で寝て、平和の夢をみます。あなたもポーポキと一緒に努力することも寝ることも夢見ることもぜひ一緒にどうぞ！

Popoki's Hot News!



ポーポキが展示参加！ 阪神淡路大震災20年

1995年1月17日のあの日から20年が経ちました。ポーポキは神戸市役所 1号館 2階の市民ギャラリーで開催される展示に参加しています。ぜひ寄ってみてくださいね。くわしくは、4ページをご参照ください。



ポーポキのピース・ブック3！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、

『ポーポキ、元気って、なに色?』は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、および感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのしほにゃんから届いた平和。

「今日は良い日でしたでしょうか？幸せな日がある一方で、ときどき悲しい日があります。自分のことを「だめだなあ」と思って反省する夜もあります。その次の日はもう少し気をつけます。そんな日々の中で成長しながら生きるから、人生は楽しくておもしろいなあと思います。人生をそう捉えて悲しい日乗り越え、また私が笑ったら、周りの人たちがつられて笑うかもしれません。その次に、彼らの笑顔を感じた何割かの人たちも笑顔になるかもしれません。そうやって笑顔が連なることで少しでも世界は平和に近づくのではないかと考えています。笑顔は、強く美しく、素敵だと思っています。」



あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



ぼくの新しい動画をURLかFBでぜひ観てくださいね！

URL: <http://popoki.cruisejapan.com/videos.html>

いつもご協力、ありがとうございます！

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」(エピック 2012) はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいと思います！

*神戸 YMCA でも販売していますよ！ 本については、<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。



2015.1.17 によせて

ろにゃん



あの日
ポーポキは
真っ暗の中で泣きました。
20 年間、毎朝の太陽を笑顔で迎えても
あの日の恐ろしさは
心の中で生き残っています。

恐怖は生きているのだ。
形を変えたり、潜めたり、飛び出したり…。
あの日の恐怖は
今もなお、多くの心のなかで
生きているのです。

震災。災害。戦争。暴力。貧困。
世界中のいたるところに
恐怖。
それぞれの体験は違う。
それぞれの体験は大切。

あの日から 20 年も経った今日
ポーポキは、心の中の恐怖を
あなたに見せます
笑わないでね

ポーポキは明日への希望を語ります
恐怖を自由に表現できること
恐怖を体験しなくてすむこと
こわいことがあっても
安心できること

そのような世界を
一緒につくること
20 年前のこの日の
記憶からはじめようね。



「ポーポキ友情物語」神戸市役所市民ギャラリーにて展示中！
「子どもたちへのメッセージ運動展～生命の尊さと震災の教訓を次世代へ～」
開催日時：2015年1月15日（木）～1月21日（水）10時～18時
開催場所：神戸市役所1号館2階市民ギャラリー（入場無料）
市民の方々のさまざまな思いや作品とともに、ポーポキの布も展示しています！！



ポーポキ at 神戸大学震災復興支援・災害科学研究推進室
第3回シンポジウム「大震災を踏まえた教訓と課題一次世代へつなぐ」

英文：あなにゃん、和訳：しほにゃん

自然災害によって人生が変わったらみなさんはどうしますか？自然災害は、家の外観を破壊し、外観を変えてしまうだけでなく、心が安らげる居場所としての「家」さえも奪ってしまいませんか？災害による破壊のせいで、とつぜん家族や友達との居場所がなくなってしまうこととはどのようなことだと思いますか？

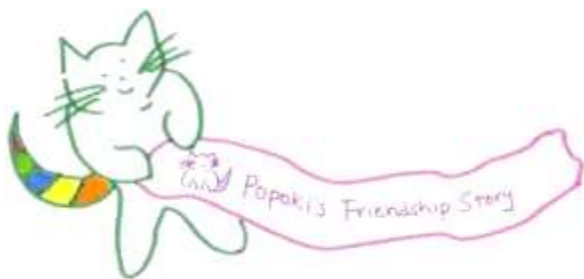
私は、時折これらの問いについて考えてみます。また、1995年の阪神淡路大震災のような震災が私の家の環境や健康、幸せを変えてしまったらどうなるのでしょうか……それもたったの一瞬で。

先日1月9日の金曜日、1995年の阪神・淡路大震災からほぼ20年がたちましたが、私たちポーポキの友達はそのときの悲しみを今も忘れてはいません。神戸大学六甲台講堂にて開催されていた第3回シンポジウム・阪神・淡路大震災20年シンポジウムで、私たちはポーポキ友情物語のポスター展示をしておりました。そこでは、阪神・淡路大震災で被災された方々に思いを寄せながら平和、希望、健康への願いを込めてメッセージをお伝えしました。今回も友情物語を多くの方にご覧いただき、絵やメッセージを共有することができ、とてもうれしく思います。 みなさん、ご参加ありがとうございました！



*これもぜひみてください！

http://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2015_01_14_01.html



* ポーポキのインタビュー *

まりにゃん

今回は丹波で出会った、工藤尋さん(丹波農援隊代表)に、まりにゃんがインタビューをしました。工藤さんは、丹波で 8 月 15-17 日にかけて起こった豪雨による土砂崩れ被害に対して、支援活動を行っておられます。土砂で埋もれてしまった農地などでは、農機での作業が難しく、人の手による作業が必要です。そのため、工藤さんを中心に、農援隊が立ち上がりました。詳しくはこちらをご覧くださいませ。 <http://tanbanoentai.org/>

まりにゃん(以下: ま): 丹波の土砂崩れが起こったときには、どこにいらっしゃいましたか?

工藤さん(以下: 工): 京都の大文字焼きを見に行きたかったのですが、豪雨であきらめたところだったんです。その日は電車も遅れていました。次の日に私の今住んでいる丹波市の春日に帰りました。そして facebook を見ていたら、「これはあかん」と思い始め、丹波太郎さん(丹波の NGO)に確認をしました。そこでお世話になった方が被災をしていると聞き、前山地域を見て回りました。すると、すごい景色が目に入りました。

ま: そのときに感じた色や音、においなどを教えてください。

工: とても暗い色ですね。それ以外はショックを受けて無感覚になった感じでした。

ま: どのような気持ちになりましたか?

工: SF の世界のような感じでした。川のまわりの田んぼだったところの境界線がなくなっていて、地形が思い出せませんでした。今まで経験したことと今回の丹波のできごとがリンクしました。私は阪神淡路大震災と東日本大震災を経験しました。ですので、東日本大震災が起こり、陸前高田にいた疎遠になった人のことを心配したときのことを思い出しました。そして丹波でも何かしないと思い、丹波で自治長さんに会ったり、ニーズ調査を行ったりしました。

ま: 農援隊を立ち上げたときは住民の方の反応はいかがでしたか?

工: 災害が起こって間もなくは、安否確認などをし、そのあとは物資や食材を配布していました。しかし、コミュニティセンターで、「重機がない農地などは、全部持ち主のみが手作業で片付けを行っているので、作業がまったく進まない」という話を耳に挟んだので、立ち上げることになりました。それから活動を始めましたが、いろいろ住民の方とボランティア側の相違があるもので、調整をするのに苦労したこともあります。たとえば、ある人は「人に頼るのが悪いわ」と言い助けを求めることができなかったり、またある人は「昨日ボランティアに来てほしいと頼んだから今日来てくれると思った」と言ったり、さまざまでした。

ま: 住民たちとボランティアたちとのこまかい調整をされてきた工藤さんですが、今後まだ支援活動が必要な中、このようになればいいなと感じていることはありますか?

工: 丹波の方々はとってもひかえめな方が多いです。ですので、ときに見えないときもあるのです。だから、大きな声の人だけが話すことのできる環境ではなく、話を「積み上げる」ことのできるフラットな環境作りが大切だと感じています。思っていることはあるけれど、「たいしたことないな」と感じたり、「飲み込んだらええかな」と思ったりしている方が気持ちを共有できるようになればいいなと感じますね。

ま: さいごに今の丹波の色はどんな色でしょうか？

工: 雨上がりの白みがかった青から薄い青に変わろうとしているところ。かな。



農援隊に参加して畑をきれいにしている際にとった1枚



ろにゃんとポーポキの放浪の旅 その3～マーシャル諸島編（1）

ろにゃん



マーシャル諸島は、約 26 の環礁で構成される赤道の近くの島国です。真珠やビーズのネックレスのように小さな島々が輪の形になっており、その内海は大きな湖のように静かです。しかし、外側は、リーフの外につながっており、外海につながっています。ポーポキと一緒に尋ねたのは首都のマジュロで、マジュロ環礁のもっとも大きな島です。それでも、歩いていると時には両側に海が見えるほど島が細く、しかも海拔 3 メートルもないでしょう。高い建物もなく、大きな津波が来たらいったいどうしたらよいかと考えたりしました。

ともあれ、今回報告したいことが二つです。一つは、ポーポキの新しいお友だちのことです。そのうち、本にゃんからの自己紹介はあろうかと思いますが、こちらから(一方的に?)「ポーポキ・ピース・プロジェクトマーシャル諸島支部長」とい

う肩書を(押し?)つけました。ちほにゃんです！マジュロでとてもおいしい、しかも雰囲気の良い「アイランドカフェ」を経営しています。ろにゃんもポーポキも大変お世話になりました。ちほにゃん、よろしくお願いします！

もうひとつのことは、ポーポキ友情物語活動のことです。マーシャル諸島は前回とりあげたパラオと同様に、日本の委任統治領に入っていて、太平洋戦争に巻き込まれた歴史があります。戦後、アメリカの信託統治領となりましたが、1946 年から 1963 年までアメリカ

の核実験場にされたため、被ばく問題は今もなお続いています。

この核実験のことを初めて知ったのは約 30 年前のことですが、それが大学院に入学し、太平洋地域の非核化を研究するきっかけになりました。

今回、久しぶりにマーシャル諸島を訪問しましたが、目的の一つは、被ばく者の話を聞くことでした。日本のマグロ漁船、第五福竜丸の乗組員も被ばくし、多くのマーシャル諸島の人々



や実験に参加した兵士も被ばくした「ブラヴォ」というアメリカがビキニ環礁で行った水爆実験からもう60年が経過しています。証言を聞く機会が少なくなっているなか、ぜひお話を聞いて、福島第一原発事故についてのご意見をうかがいたいと思っていました。

その願望を実現できました。偶然の出会いも必然の出会いもありました。当時の話だけではなく、今もなお島へ帰ることができない気持ちも聞かせていただきました。そして、地震、津波、原発事故のために帰りたくても帰れない人が日本にいることを語りました。震災のことをご存じの被ばく者はあまりいませんでしたが、「帰れない」という現実には悲しみと、広島・長崎や核実験による被ばくの教訓はまだわかっていないのか！という驚きと怒りを表現しました。ポーポキの布にも描いてくれました。「おうちに帰れないみなさんに差し上げたいもの」を。笑顔で楽しそうに、そして恥ずかしそうに描きました。絵はいのちを意味するヤシの木やかわいいおうち、島の食べ物や花など。私は、感動して、何回も目がうるみ泣きました。みなさん、ありがとうございました！布を日本で展示して、みなさんの話を日本の皆さんにもシェアします！



ポーポキちゃんの簡単ボガ教室

Lesson 80

今月のテーマは、2015 年です！



新年なので、今回は特別なボガを用意しました。身体で**2015**を描きます！

1. まず、数字の2をイメージしましょう。ひざをつけて、太ももと腰で曲線を描いて、手を頭で2の頭の部分を描きます。しっぽは、背中に沿ったままです。
2. 次は0です。立ちながら、全身で大きな○をつくりましょう！しっぽは背中に沿ったままですね。
3. では、1をつくりましょう。立ちながら手もしっぽも上へ伸ばしましょう。
4. 最後に5ですね。無理をしないようにね！できる方は足で曲線を描きながら、腰、頭、手としっぽで5の上の部分をつくります！
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてボガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会 1月31日(土) 18:00～

場所：JR 六甲道南、徒歩3分 灘薬剤師会事務所（ウェルブ六甲道2番館6
51-2号室：6階）。わからない時はさとにゃん又はろにゃんに電話をください。

2015年1月15日～21日 ポーポキ at 「子どもたちへのメッセージ展」いのちの尊さと震災の教訓を
次世代へ。阪神淡路大震20周年。神戸市民ギャラリー 神戸市役所1号館2階。10時～18時。

2015年2月24日 兵庫医療大学で「健康と平和」ワークショップ。12:50～13:20。アドレド大学の
看護学生。参加希望者はさとにゃんへご連絡ください。

2015年2月26日～3月2日 ポーポキin大槌町

2015年3月？日 ポーポキのミニ平和映画祭

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なにに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なにに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10 面





私にとってのポーポキ

やすにゃん

こんにちは、先日までアフリカのウガンダにてインターンシップをしていたやすにゃんこと中川靖大です。今回は私にとってのポーポキをお話したいと思います。

私のポーポキとの最初の出会いは東北でした。当時私は大学生で東日本大震災が起こって以来、何度か宮城県や岩手県を訪問していました。

はじめてポーポキを見たとき、ポーポキが本当に東北の人たちを元気にしているのかな？と考えてしまいました。

ポーポキと一緒に訪れた宮城県石巻市では子どもたちや大人たちも優しくポーポキを迎えてくれて、楽しそうに遊んでいました。

それでも東北から遠く離れた神戸からきた自分たちに東北の人の気持ち、思いは簡単には分かりません。どんなに一緒にいたって、どんなに仲良くなったって、どんなに元気に見えたって。それはポーポキだって同じことだと思っていました。

そして現在。私はウガンダでちょっとした事件に巻き込まれてしまいました。

それを聞きつけたポーポキはろにゃんの力を借りて私を励ましにはるばるウガンダまで駆けつけてくれました。ウガンダの言葉はもちろん人間の言葉も話せない、一緒に遊び回ってもくれない気まぐれなポーポキですが、すごく私を励ましてくれました。

ポーポキは私に元気をくれたあと、どこでも誰でも、友達になってくれる人、元気をあげたりもらったりできる人を探して今も散歩しているんだろうなあ、と思います。ポーポキなら人を元気にできると今は信じています、自分が元気をもらえたから。

ありがとう、ポーポキ。

自分もポーポキを見習っていろんな人に元気を与えるようになるから、もちろんポーポキにもお返しさせてもらわないと。友達だから。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!